



今週木曜日は3学期期末テスト！

最後の定期テストとしてしっかり取り組むこと！

今週の木曜日は、3学期期末テストが実施されます。今までの学習のまとめのテストであるとともに、皆さん3年生にとっては津幡南中学校での最後の定期テストとなります。しっかりと学習し、良い成果を出してほしいと期待しています。私立入試が終わり、「気がぬけた」という人もいるかもしれませんが、しかし、公立高校が第1志望の生徒は、いよいよこれからが本番といえます。決して気を緩めることなく、最後の努力を進めていきましょう。ここでの良い結果は、公立入試へ向けての自信にもつながります。一方、今週で進路が決定する生徒（私立高校専願などの生徒）にとっても、意味のないものではありません。高校へさらに勉強をするために進むのです。中学校での学習を最後までしっかりとやることが、4月からのスタートに影響します。大切なのは、「4月からの高校生活を良いものにする」ことです。精一杯の努力をしてテストにのぞみましょう。



テストの日程を確認しよう！（1，2年生は授業です）

限	1 限	2 限	3 限	4 限	5 限	6 限
10日(木)	国語テスト	理科テスト	英語テスト	社会テスト	数学テスト	かつ(PTCA)
14日(月)	月曜2限	月曜3限	月曜4限	月曜5限	公立願書指導	公立願書指導

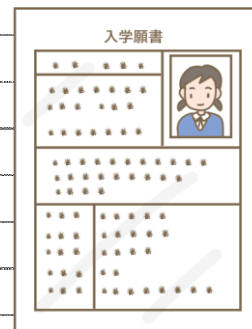
来週15日（火）は公立願書の提出〆切日！

絶対に忘れないようにしよう！！

公立高校の入学願書の指導と配付は来週14日（月）、校内提出〆切は来週15日（火）となっています。必ず、提出しましょう。ただ、まだ悩んでいるという人は絶対に遅れないように注意してください。学年全体で作業を進めているので1人のために全体がストップするわけにはいきません。今週中に学級担任と相談したり、PTCAを利用して、来週火曜日には必ず提出しましょう。

公立一般願書の志願学科欄の書き方

学校名	第1志望欄の学科(コース)の記入例							第2志望欄
小松市立高等学校	普通 (普通コース)	普通 (芸術コース、音楽専攻)	普通 (芸術コース、美術専攻)					記入または「なし」
県立翠星高等学校	総合グリーン科学							空欄
県立金沢泉丘高等学校	普通	理数	併願					空欄
県立金沢二水高等学校	普通							空欄
県立金沢伏見高等学校	普通							空欄
県立金沢商業高等学校	総合情報ビジネス							空欄
県立工業高等学校	機械システム	電気	電子情報	材料化学	工芸	テキスタイル工学	デザイン	記入または「なし」
県立金沢桜丘高等学校	普通							空欄
県立金沢西高等学校	普通							空欄
県立金沢北陵高等学校	総合学							空欄
県立津幡高等学校	スポーツ健康科学	総合学						記入または「なし」
県立羽咋高等学校	普通							空欄
県立宝達高等学校	普通							空欄
県立飯田高等学校	普通 (普通コース)	普通 (ビジネスコース)						記入または「なし」
市立工業高等学校	機械	電気	電子情報	建築	土木			記入または「なし」



講座学習は最後のコースに入っています。

長い講座学習もいよいよラストです！！

長い講座学習もいよいよ終盤をむかえています。一昨年の12月からスタートした講座学習ですが、今月からのコースをもって終了となります。コツコツと積み上げてきたものですから、少し寂しい気もしますが、皆さんの学習が終盤をむかえているということです。日々の努力もあと少し。気を抜かないで頑張りましょう。最後の最後まで粘り強く頑張ることが、素晴らしい結果を最後に得られることにつながるはずです。



「私立高校の入学手続き」は確実にすませましょう！

2月1日に行われた私立高校入試の合格者の入学手続きが今週から始まります。合格通知が来たご家庭では入学手続きの仕方が記載された配付物が届いていると思います。高校の各種手続きは、期限があります。今後も入試に関わるいろいろな手続きが必要となります。手続きを忘れることなく期限厳守でお願いします。



面接練習は継続して実施します！

公立高校の受検にも面接が実施される学校があります。私立高校入試前に行った練習同様に、面接練習を実施します。予定は、願書提出後の来週からです。準備をしておいてください。あなたは志望校の公立入試で面接があるのか知っていますか。



授業を大切に！！

最後の4週間が勝負の分かれ目になる！

いよいよ公立高校の学力検査まで4週間余りとなりました。今週で出願校を決め、あとは努力を尽くすのみです。しかしながら、私立高校の合格発表後、気持ちがゆるんでしまう人が出てくるのではないのでしょうか。ほとんどの人は私立高校の合格で一応の進路が決定しましたが、公立高校への進学を希望している人はこれからが本番となります。気持ちを切り替えて、授業を大切にしながら有意義な学習を進めてください。授業では、教科によっては教科書の学習も終わり実践プリントが続いているのではないのでしょうか。1時間1時間の集中力が、最後の最後で底力になるはず。公立受検は私立とは比べものにならないくらい厳しいです。本当の第1志望への進学こそが皆さんの目標です。頑張りましょう。

なぜ、公立高校は私立高校と比べて厳しいのか???

1. 定員が決まっています、その人数しか合格できません。

私立高校では全体として非常に多くの人数が合格しています。しかし、公立高校では定員といわれる決まった人数しか合格しません。普通科の多いところで400人。多くの学科がある高校では少ないところでは30人という学科もあります(40名中、推薦で10名が決まっているため)。県内の中学生が、その中に入るためにたくさんの努力をしているのです。

2. 倍率によって、さらに難易度が高まることが予想されます。

定員に対して何倍の生徒が出願したかによって出願倍率が決定します。倍率により難易度が変わります。その年その年の違いがあり、今年の倍率はわかりません。大切なのは、どんなに高倍率になっても合格できる実力を身につけることです。



3. 似たような実力の生徒が集まっている激戦です。

公立受検では、各中学とも似たような指導をされているので、似かよった実力の生徒が集まることとなります。まさに激戦です。少しの点差が合否を分けることになるわけです。1点でも多く…という意識が大切です。「別に落ちてもいいし…」なんて言っている人は、とうてい合格には手が届かない、と言っても過言ではないでしょう。

公立高校学力検査まで あと29日！！